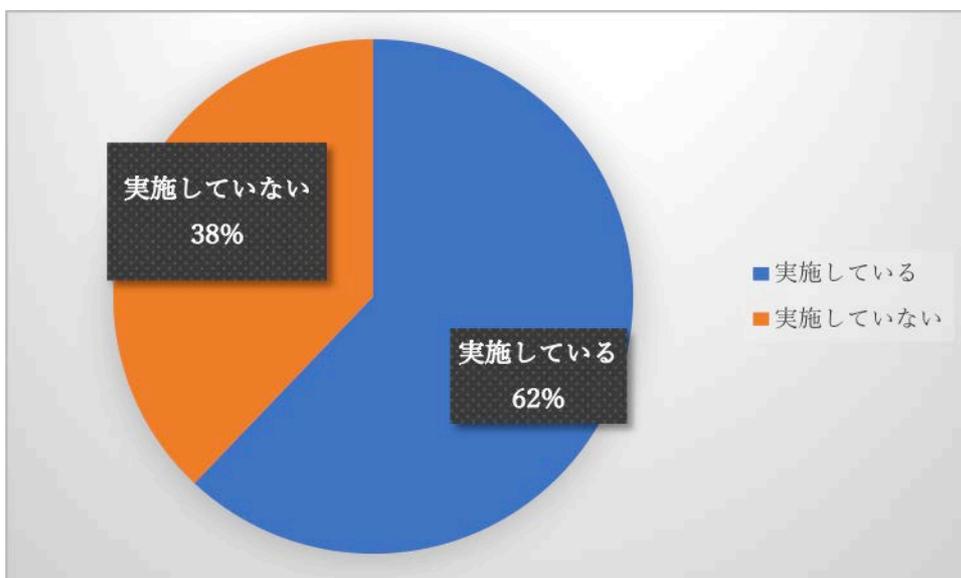


## 「支部事業に関するアンケート」集計結果

### 1 登山教室の実施について

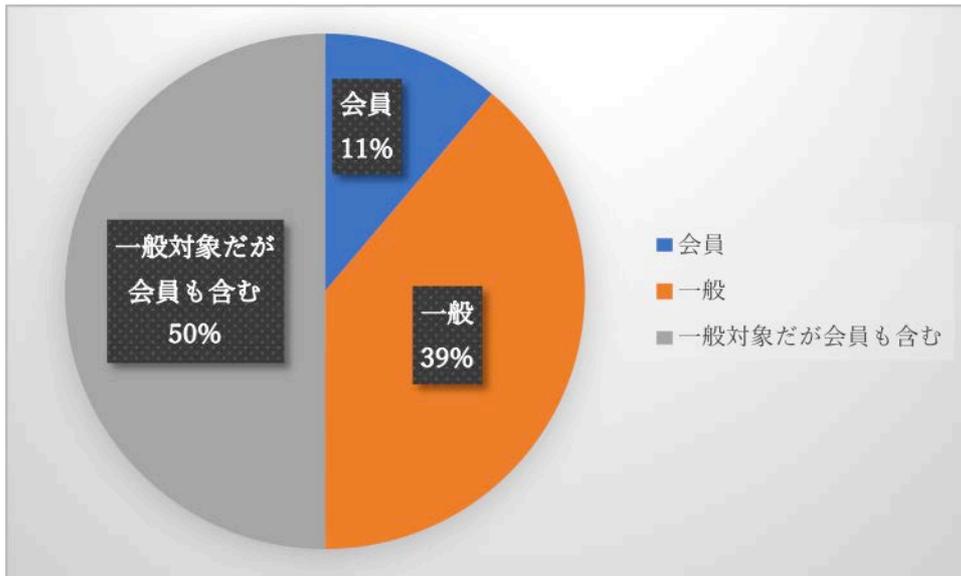
① 支部において登山教室を実施していますか？

- ・実施している（20）
- ・実施していない（10）



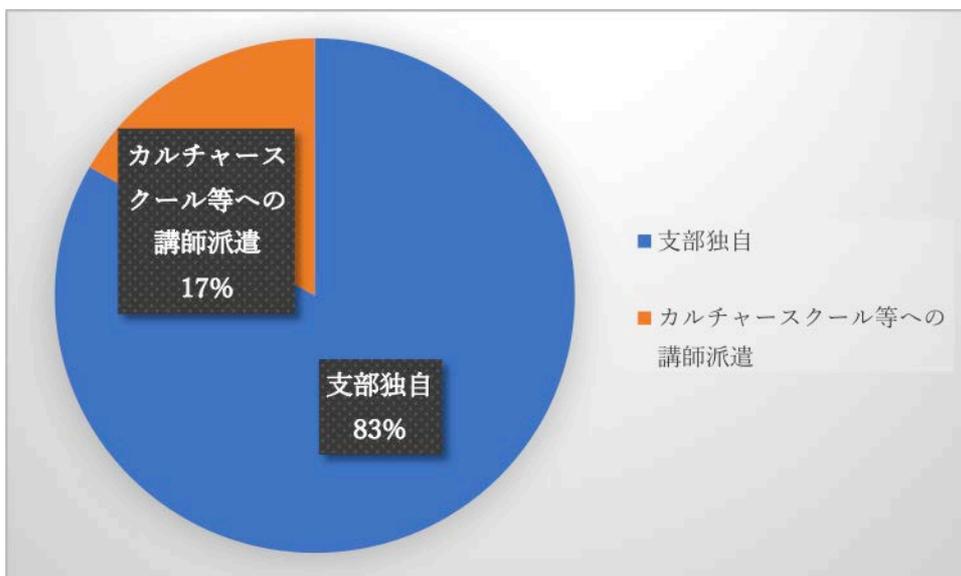
② 登山教室の対象者は誰ですか？

- ・会員（2）
- ・一般対象（7）
- ・一般対象だが会員も含む（9）
- ・無回答（2）



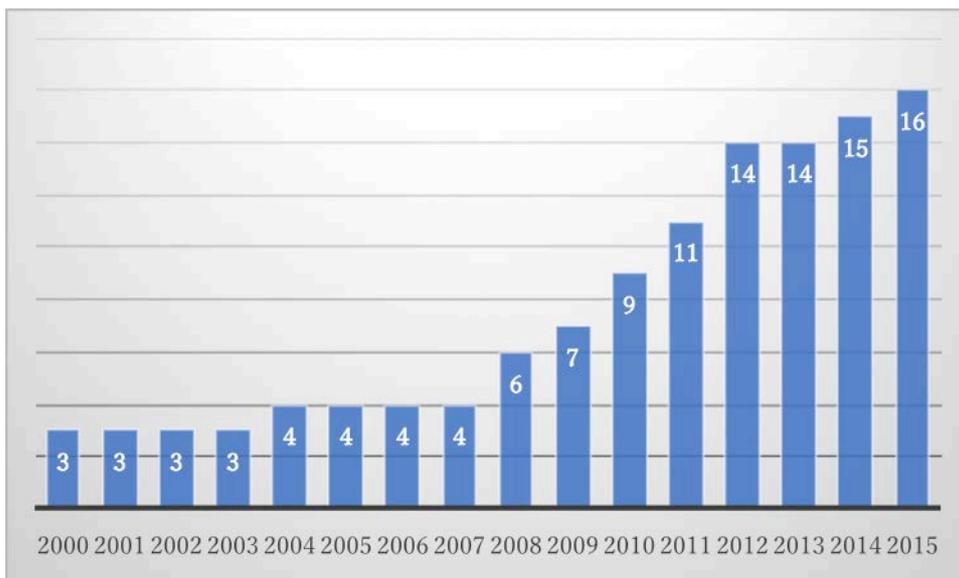
③ 登山教室の主催はどちらですか？

- 支部独自開催 (15)
- カルチャースクールなどへの講師派遣 (3)
- 無回答 (2)



④ 登山教室を開始したのはいつですか？

- 1964年 (1)
- 1985年 (1)
- 1999年 (1)
- 2004年 (1)
- 2008年 (2)
- 2009年 (1)
- 2010年 (2)
- 2011年 (2)
- 2012年 (3)
- 2014年 (1)
- 2015年 (2)
- 無回答 (4)



登山教室を開催する支部数の推移（開始時期記入の支部のみの集計）

⑤ 実施の頻度はどのくらいですか？（1年間）

- ~1回 (6)
- ~6 (4)
- ~12 (2)
- ~24 (4)
- 44 (1)
- 120 (1)
- 無回答 (2)



⑥ 講習料はどのくらいですか？

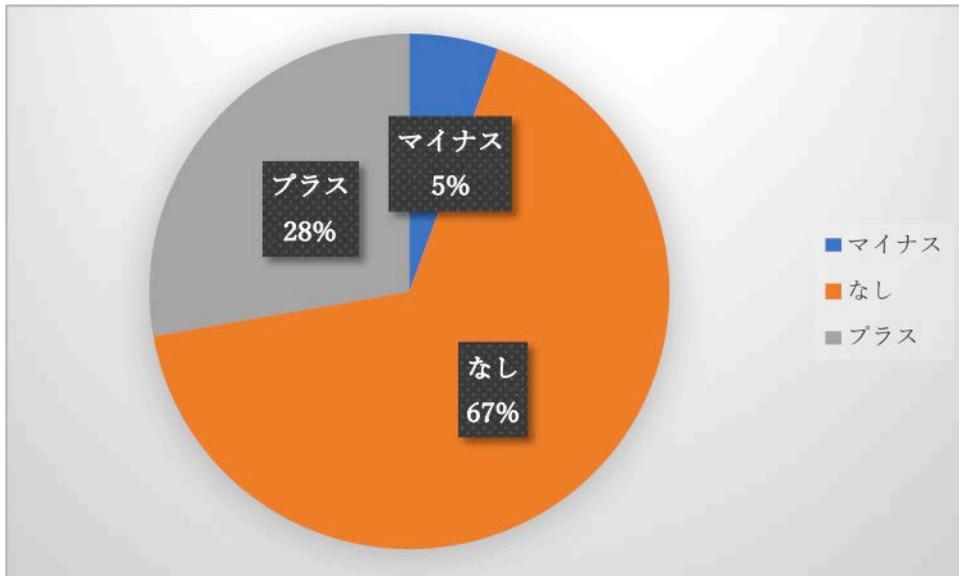
- 5-6万円 【実地講習 18回】
- 39,000円 【座学講習 9回、実地講習 21回】

- 13,000 円 【座学講習 1 回、実地講習 2 回】
- 6,000 円 【座学講習 1 回、実地講習 3 回】
- 6,000 円 【座学講習 2~11 回、実地講習 2~3 回】
- 5,000 円 【座学講習 1 回、実地講習 4 回】
- 2,000 円
- 1,500 円 【座学講習 1 回】
- 1,500 円
- 0 円 【座学講習 4 回、実地講習 4 回】
- 実費 【座学講習 1 回、実地講習 2 回】
- 2,500 円/回
- 無回答 (8)



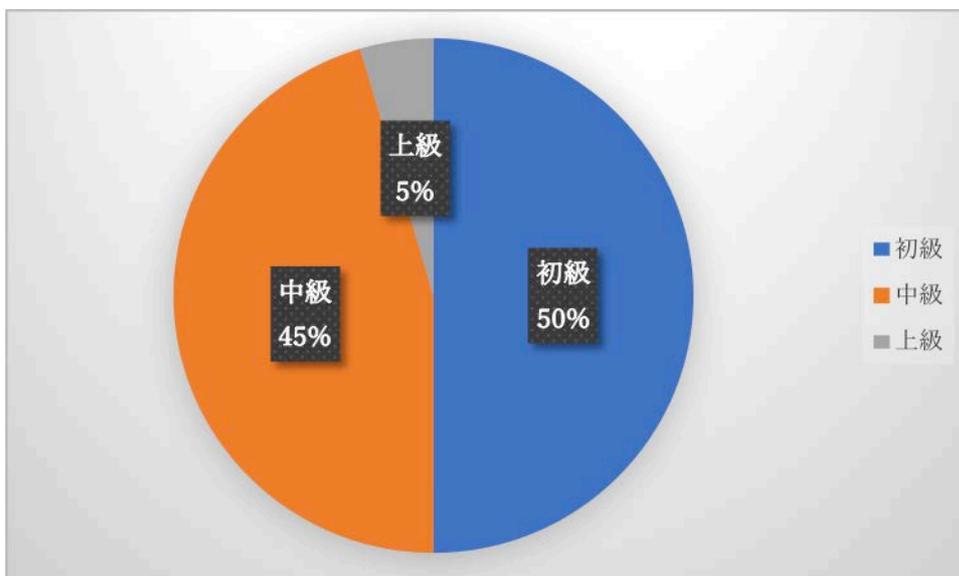
⑦ 登山教室による収益はありますか？

- - 5,000 円 (1)
- 14 万円 (1)
- 70 万円 (1)
- 0 円 (12)
- 20 万円 (1)
- 無回答 (2)
- + (1)
- 50 万円 (1)



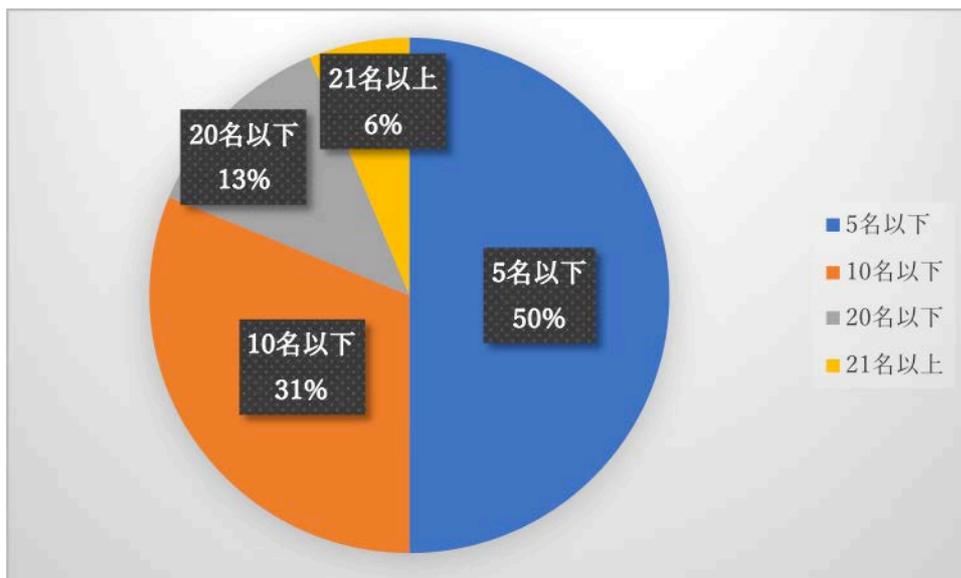
⑧ 講習のグレードは？【複数回答】

- 初級（11）
- 中級（10）
- 上級（1）



⑨ 講師数と年齢構成は？

- 講師数合計
- 2名（5）
  - 4名（3）
  - 6名（2）
  - 7名（1）
  - 8名（1）
  - 9名（1）
  - 11名（1）
  - 30名（1）
  - 延べ14名（1）
  - 無回答（4）



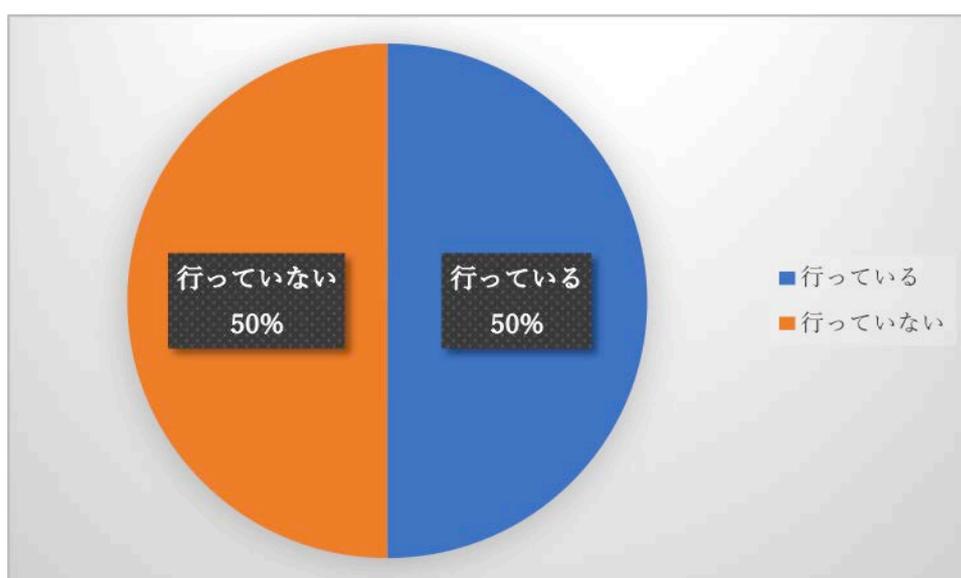
【講師の年齢の代表値】

目安として（最低年齢－最高年齢）／2 の平均値を示す

- ・リーダクラス            62.2 歳
- ・サブリーダクラス      56.2 歳
- ・サポーター              61.5 歳

⑩ リーダー研修を行っていますか？

- ・行っている (9)
- ・行っていない (9)
- ・無回答 (2)

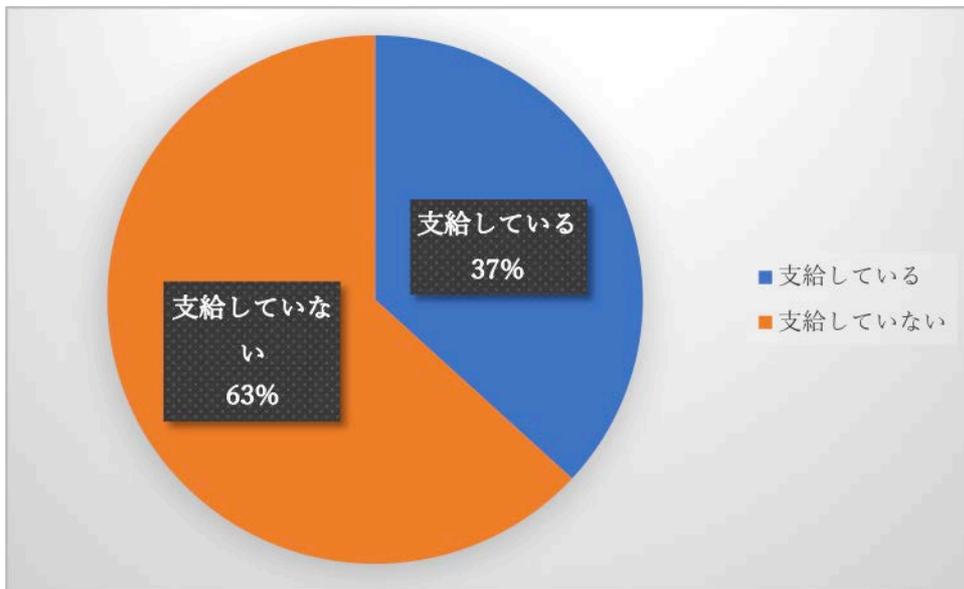


⑪ 講師料は支給していますか？

- 支給していない（12）
- 支給している（8）

【金額】

- 10,000 円／回 (2)
- 1,000～30,000 円／回 (1)
- 3,000 円／回 (2)
- 金額未記入 (3)

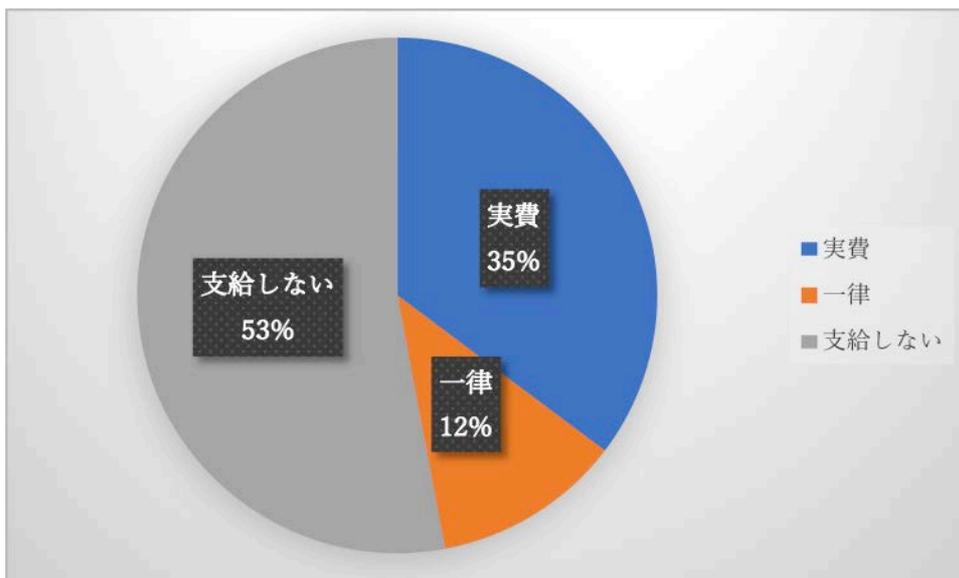


⑫ 交通費を支給していますか？

- 実費を支給している（6）
- 一律支給している（2）

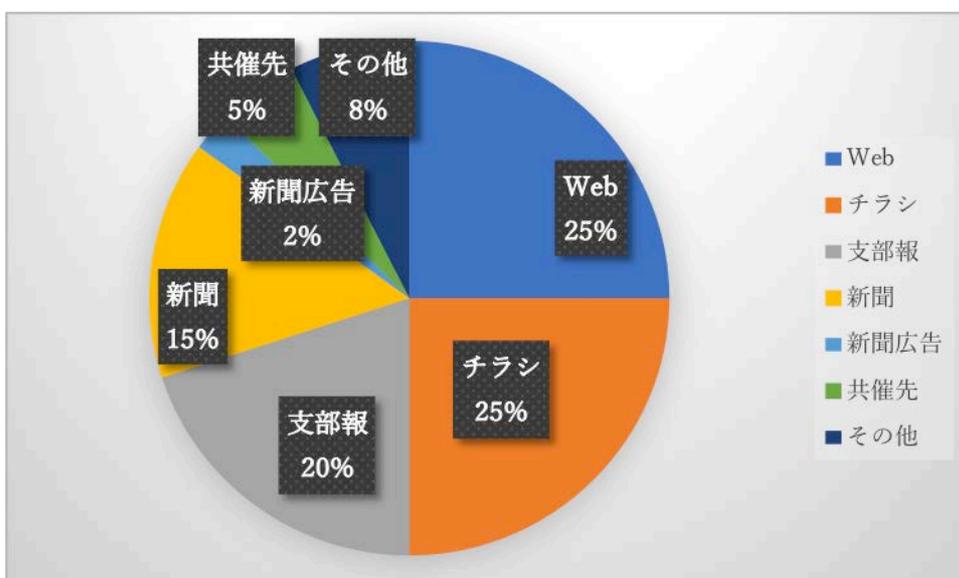
【金額】 1,000 円（1） 5,000 円（1）

- 支給していない（9）
- 無回答（3）



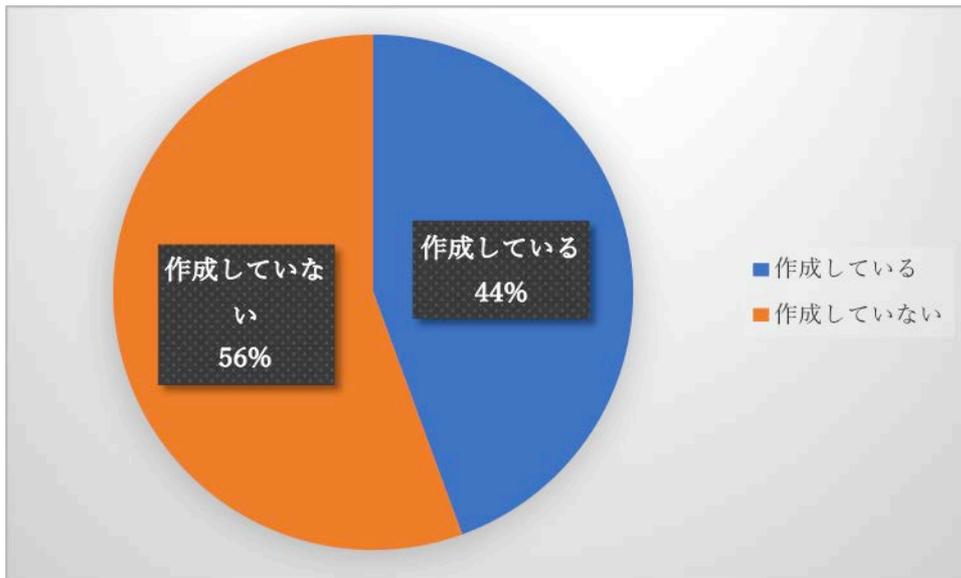
⑬ 登山教室をどのようにして告知していますか？【複数回答】

- Web サイト (10)
- 支部報 (8)
- チラシ配布 (10)
- その他 (12)
  - 新聞 (3)
  - 地方紙の記事 (3)
  - 地方紙の広告 (1)
  - 共催先のHP (2)
  - 月例登山研究会 (1)
  - 内容未記入 (2)



⑭ 指導マニュアルを作成していますか？

- 作成している (8)
- 作成していない (10)
- 無回答 (2)



⑮ 登山教室を実施するにあたってどのような課題がありますか？【自由回答】

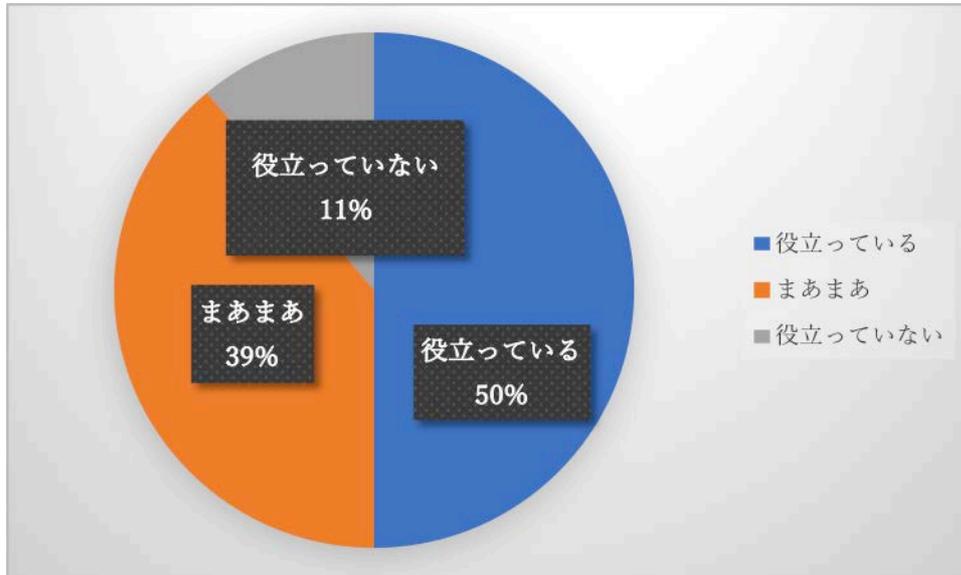
- 受講者の確保（4）
- 新たな講師となる会員の確保
- 講師、リーダー、サブリーダーの人材不足（3）
- 講師、リーダー、サブリーダーの高齢化（2）
- 時期リーダーの育成（2）
- 現地実習登山の安全確保、リスク対応（2）
- 毎年の実施は、会員の負担になる
- 平日開催のため受講者が中高年に限定されてしまっていること
- キャンセルが多くなると赤字になることがある。
- 安価で利用できる会場の確保
- 受講者にリピータが多い。
- 登山教室案内チラシ配布先の開拓。
- ガイド登山的受講者がいること。
- 講座の意義、想いについて講師と講座生に乖離がある
- 初級者向け→上級への移行
- 定まったテキストがないこと
- 若年層の受講を促すために講座の開催時期、回数、内容を検討すること

⑯ 登山教室の実施が会員勧誘に役立っていますか？

- 役立っている（9）
- まあまあ（7）

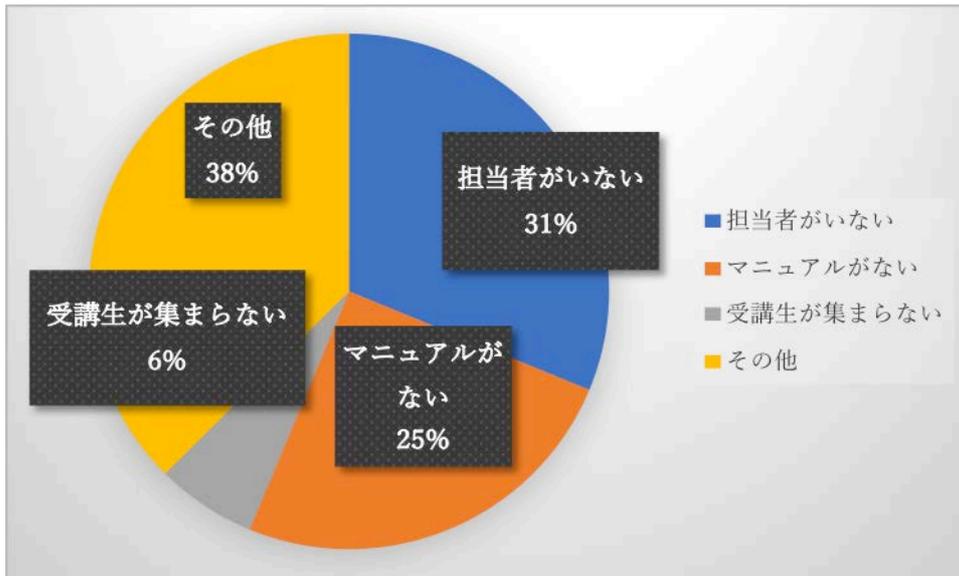
・役立っていない (2)

・無回答 (2)



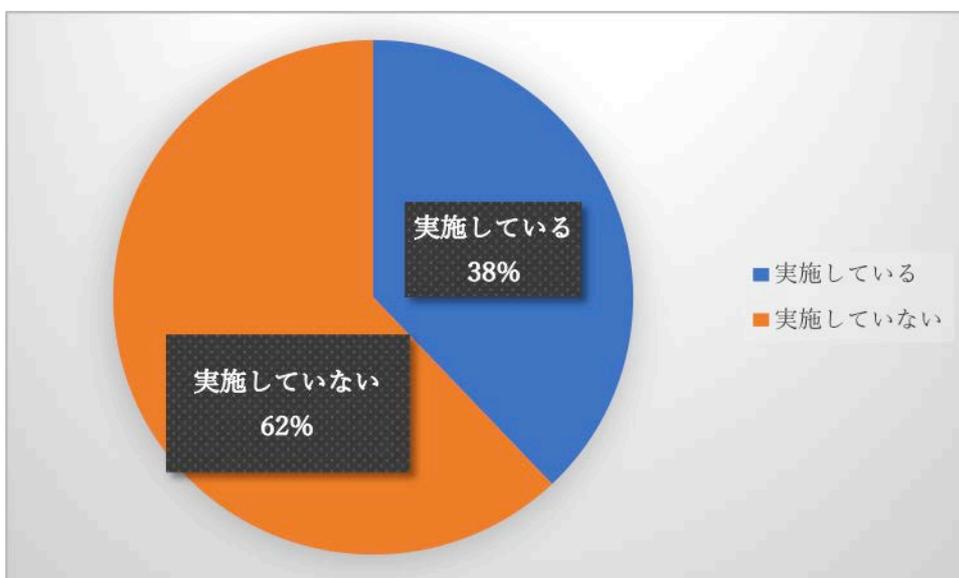
⑰ 登山教室を実施しない理由は？（登山教室を実施していない場合のみ回答）【複数回答】

- ・担当する会員がない (6)
- ・マニュアルがない (5)
- ・受講者が集まらない (2)
- ・その他 (6)
  - 来年度からの実施を計画中 (2)
  - 将来的には実施したい
  - 設立して間もないため
  - 支部として実施する余力が無い



## 2 セルフ・レスキュー講習会（研修会）

- ① セルフ・レスキュー講習会を実施していますか？  
 実施している（11）      実施していない（19）



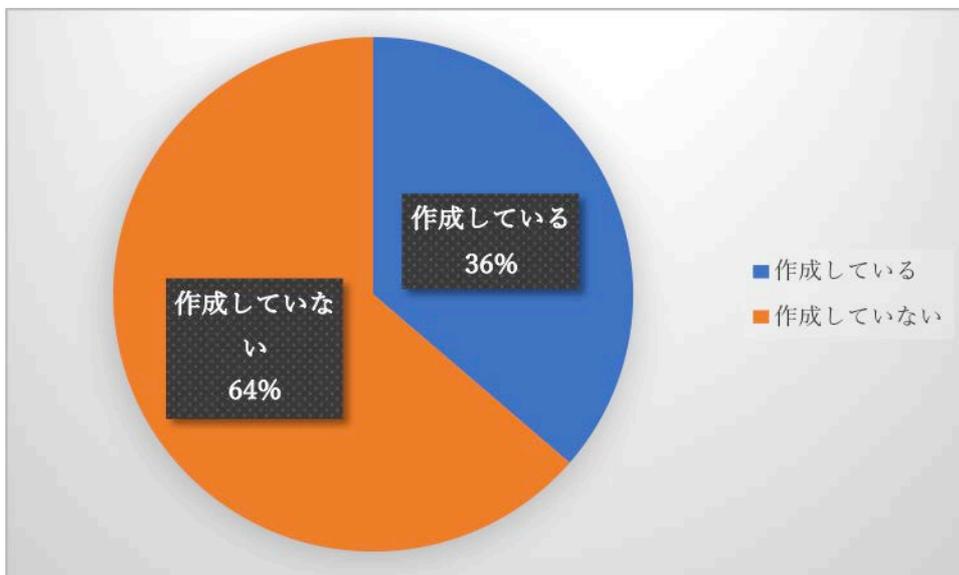
- ② 講習会の概要をお答えください。【自由回答】

- ・雪崩の講習会（山スキーエリアでの雪崩の危険度を判断する各種テスト、ビーコン操作、セルフレスキュー等の訓練）

- 毎年1回、岳連遭難対策委員長を講師に、セルフレスキュー概論、登山計画書（意義を含め）の作成、セルフレスキューに必要な最低限の装備・救急セットなど、事故発生時の初期活動、救急活動（救命手当・応急手当等）、遭難予防（道迷い・ビバーク・ロープワーク等）について机上と実地講習を開催。
- 登山教室リーダー育成講習会を実施。ロープワーク、滑落者の救助、ツエルトの使用法、遭難マニュアルによるリーダー及びメンバーの役割
- 机上学習/2～3時間、けがの応急手当・吊り上げ法（ライジングシステム）
- 事故発生時の対応要領／転落者救助の実地訓練
- 消防の蘇生法／レスキュー
- 岩場での救助技術等
- 登山教室としてテーピング技術の講習会を実施
- 登山全般、セルフレスキュー、応急手当
- 14回講座のうち1回は初級ロープワークとハイキングレスキューを取り入れている
- 登山教室の中で実施

③ マニュアルを作成していますか？

- 作成している（4）
- 作成していない（7）
- 無回答（19）

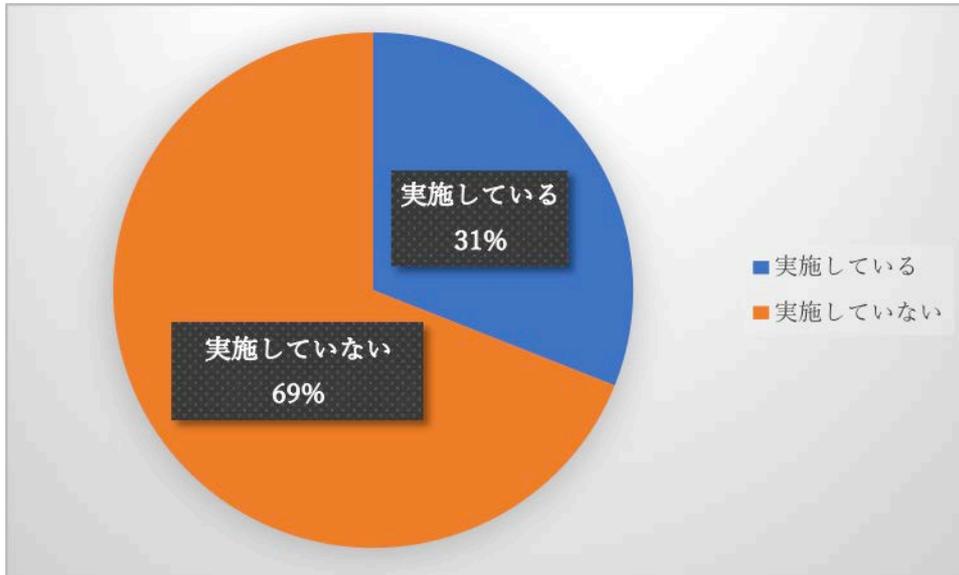


### 3 救急医療講習会（研修会）について

① 救急医療講習会を実施していますか？

・実施している（10）

・実施していない（20）



② 講習会の概要をお答えください。【自由回答】

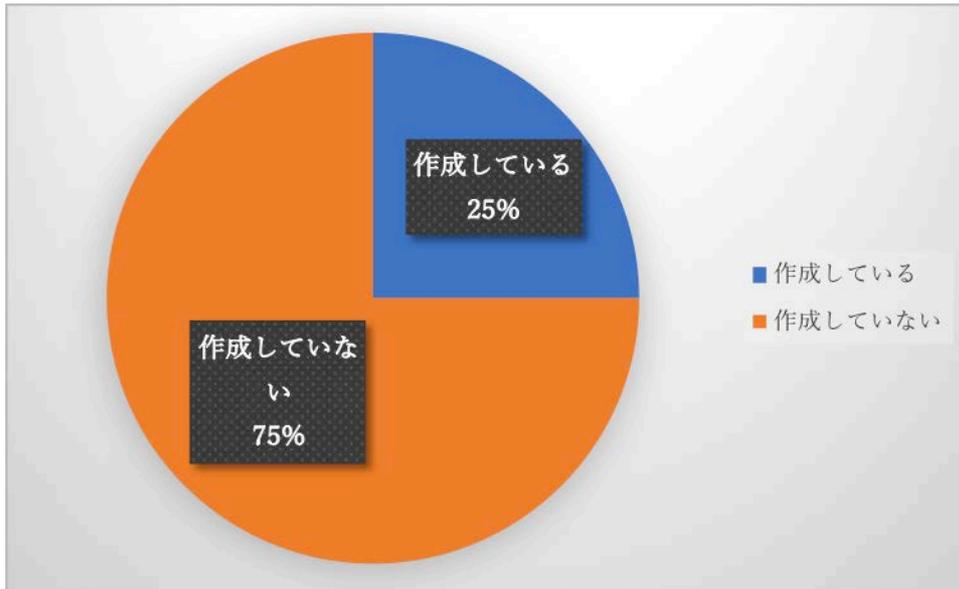
- ・日山協遭難対策委員および日赤救急法指導員を講師に、救急救命（主として心肺蘇生）法・AED 使用法、また ケーススタディとして縦走登山中に事故に遭遇した場合にどのように対処したらよいを具体的に実施・訓練する。
- ・消防署で実施している普通救命講習に参加
- ・2015 年に消防署による心臓マッサージと AED の取り扱い、2016 年に恵秀彦氏による応急処置を実施、2017 年度も 2016 年と同様の講習を実施予定
- ・切創、腕、脚の骨折を想定した三角巾、テーピングなどによる手当
- ・赤十字救急法短期講習（救急手当短期講習／応急手当短期講習）
- ・講師関係者に任意で赤十字および広島県山岳連盟主催の講習会への参加を要請／内容は救急救命、応急手当や登山指導員、インストラクター研修
- ・他事業の合間を利用して行う時がある

③ マニュアルを作成していますか？

・作成している（2）

・作成していない（6）

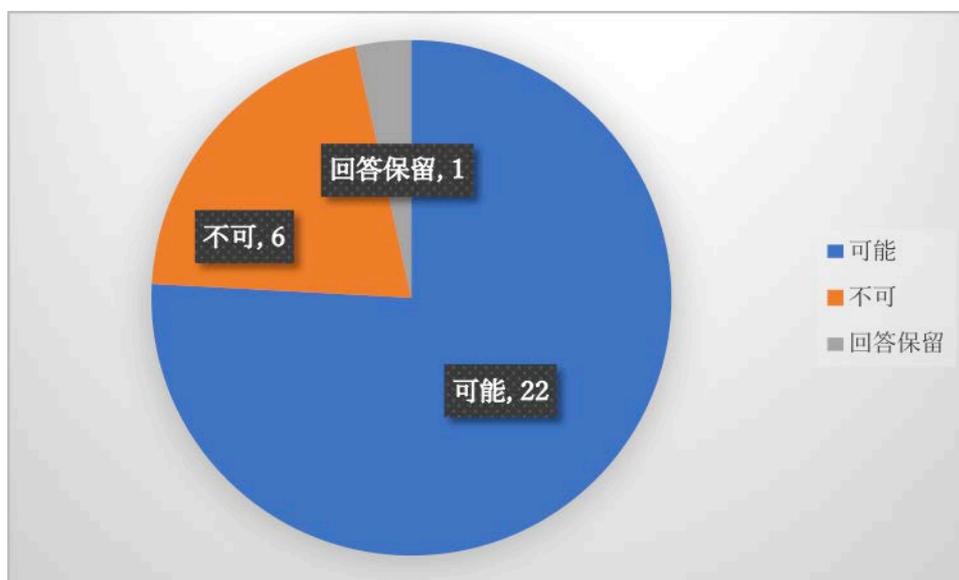
・無回答（22）



4 2017年10月より、支部へ訪問して講習会のデモンストレーション（実施を含む）を予定しています。

① 実施を受け入れることは可能ですか？

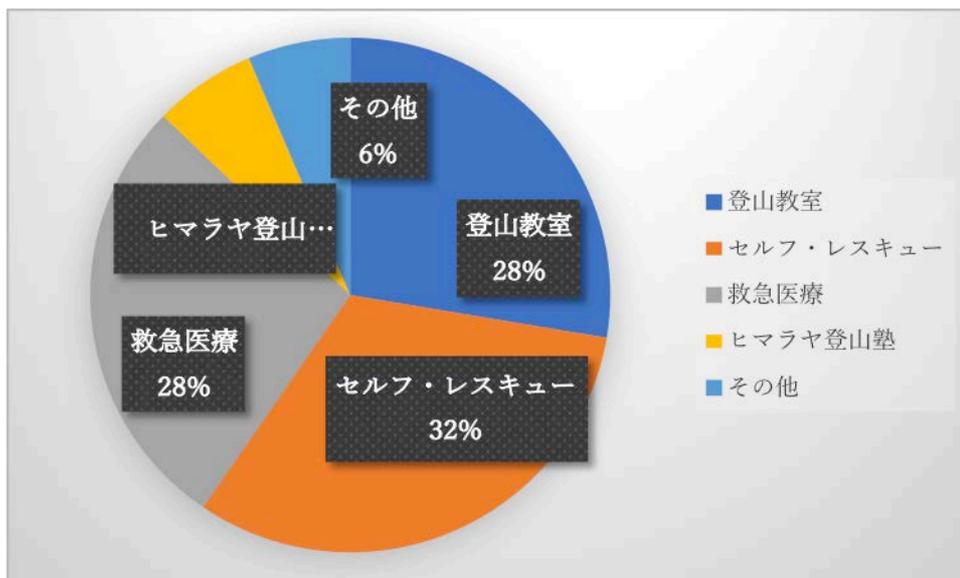
- ・可能（23）
- ・不可（6）
- ・回答保留（1）



② どのような講習会を希望しますか？【複数回答】

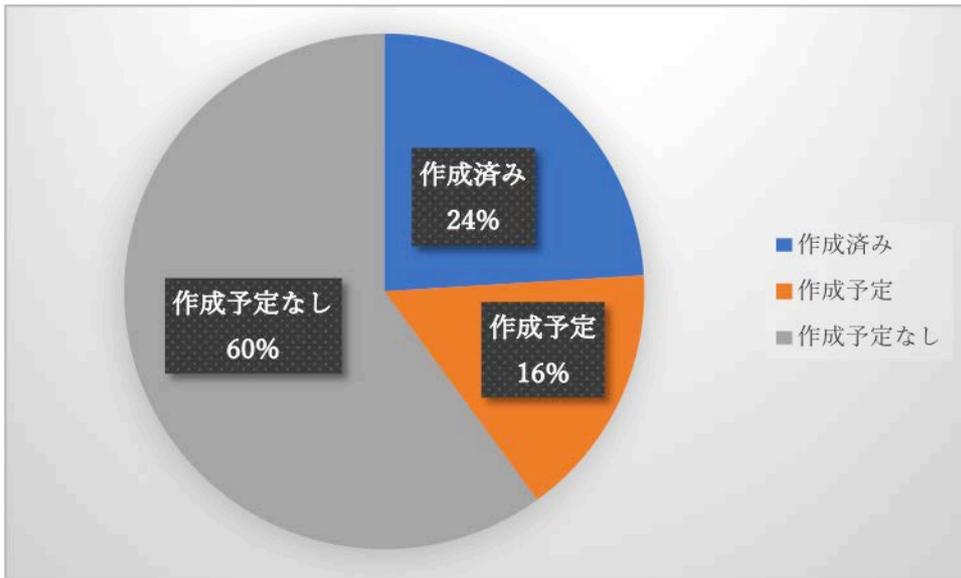
- ・セルフ・レスキュー（16）
- ・登山教室（14）

- 救急医療（14）
- ヒマラヤ登山塾（3）
- その他（3）
  - 冬山入門ー初めて実施
  - 登山の医学／最新装備の現状
  - 事故防止



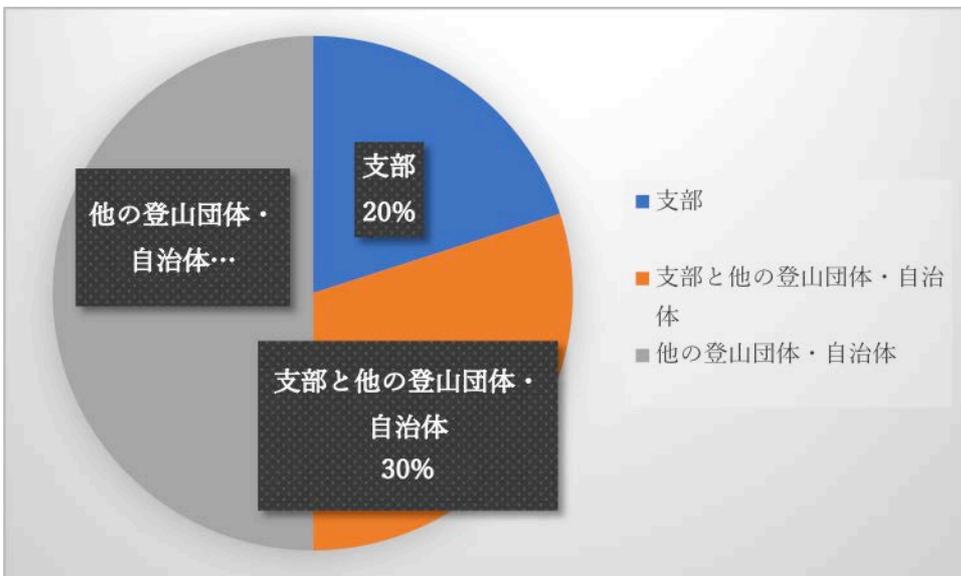
## 5 山のグレーディングについて

- ① 地域において山のグレーディングを作成している、又は作成を予定していますか？
- 作成している（8）
  - 作成を予定している（4）
  - 予定なし（15）
  - 無回答（3）



② 作成している、又は作成を予定している場合、実施主体はどちらですか？

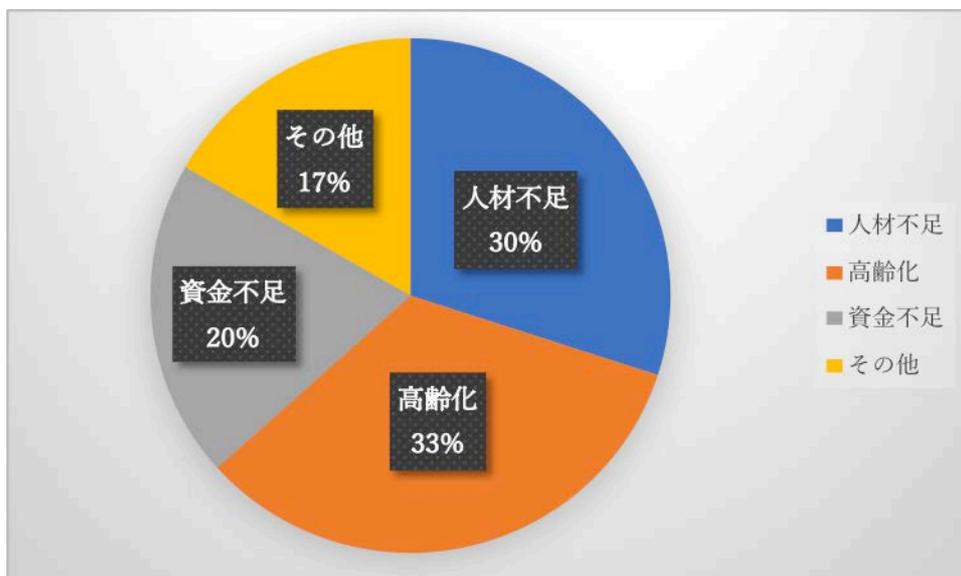
- ・支部（2）
- ・支部と他の登山団体・自治体（4）
- ・他の登山団体、又は自治体（5）
- ・無回答（1）



## 6 支部で事業を行うに際しての問題点

① 支部で諸事業を行う際に問題点があればあげてください？

- 指導者（担当者）の不足（19）
- 会員の高齢化（21）
- 資金不足（13）
- その他（11）
  - 支部会員数が44名(実質参加者は25名程度)の極小支部で、若い会員が殆どいない。支部会員が年々高齢化し、支部の存続、維持が精一杯で、人材的にも資金的にも余裕が無い。
  - 特定の会員に負担が偏り特に現役世代の負担が大きい
  - 会員数が少なく、新入会員も少ない。ほとんどの講習などの事項は個別指導で先輩からその都度行っている。一般の方を対象とした講習会などは会の実力を超え、会員の負担増加にしか繋がらない。大きな支部で新入会員が多い支部では必要かと思われるが、多くの小支部では、大々的な講習会は必要がないと考える。
  - 交通機関等
  - 事務仕事が多すぎる
  - 諸手続の効率化
  - 参加者が限られている



【全回答数：30 通】